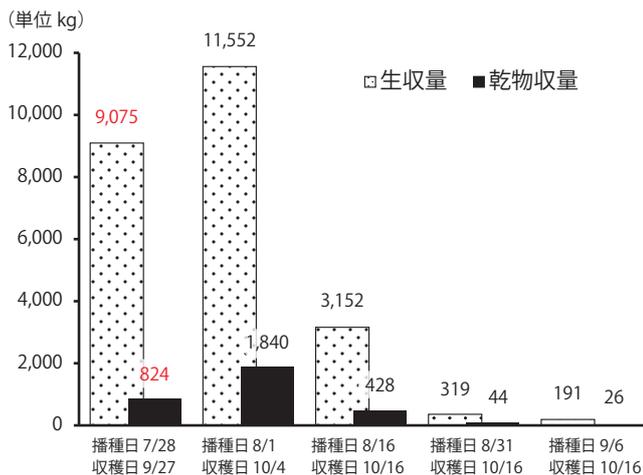


パールミレット「ネマレット」品種名ADR300」北海道販売について New

本年より北海道で販売開始となる緑肥作物の新品種「ネマレット」をご紹介します。
近年北海道の夏はとても暑く、耐寒性を求められていた作物も耐暑性を考慮すべきと言われています。
今回ご紹介する「ネマレット」は暑い夏6月上旬～8月上旬でも短期間で生育旺盛かつ多収です。



播種期別の収量（夕張郡長沼町、2023年）
8月上旬播種までで高い収量を確保できます。



播種日：8月上旬 撮影日：9/8（上川郡和寒町2023年）
コムギ収穫後すぐに播種ができれば十分な収量を確保できることを確認しています。

☆「ネマレット」は大柄ですが、すき込み作業後土壤中で分解されやすい特性があります。

C/N比は10台と低く、茎葉が柔らかく出穂後でもC/N比がソルガムと比べ低く維持されます。

C/N比 すき込まれた緑肥は土壤中で窒素を餌源として微生物が活動し分解します。炭素率が高い場合はもともとある土壤中の無機態窒素まで餌源として取り込んでしまい窒素飢餓現象が発生する場合があります。

- ・C/N比とは、有機物中の窒素含有率に対する炭素含有率の比で、土壤中での分解のしやすさを表しています。
- ・C/N比が小さい（窒素含有率が高い）緑肥作物は、窒素の無機化率が高く肥料低減効果が期待できます。
- ・C/N比が大きい（窒素含有率が低い）緑肥作物由来の窒素だけでは微生物の餌源が不足し、有機物集積効果（土づくり効果）は高いが肥料低減効果はあまり期待できません。
- ・C/N比はイネ科・マメ科等種類により差があります。例：ソルガム（出穂期）30以上、クローバ（開花期）12～15

☆「ネマレット」は線虫の抑制効果もあり作物の根に寄生する有害線虫の密度を低減することができます。

キタネグサレセンチュウ、サツマイモネコブセンチュウ、キタネコブセンチュウの密度を低減する！

作物の生産低下・品質低下にこのような症状が出ていませんか？

ハウス栽培



●キタネグサレセンチュウの症状



●サツマイモネコブセンチュウの症状



●キタネコブセンチュウの症状

☆「ネマレット」はハウス内での利用もおすすめ。

酸性土壌（pH 4 台）でも生育旺盛。水田育苗後のハウスやジャガイモそうか病発生圃場でも良好な生育が期待できます。

☆「ネマレット」はソルガムの連作障害発生圃場にもおすすめ。

ソルガム類を連作すると「いやち現象」により生育停滞や赤紫色になる症状が出る場合がありますが「ネマレット」はいやちの影響を受けづらい傾向にあります。

☆「ネマレット」播種量の目安

- ・露地での播種：3～4 kg/10a
（線虫対策の場合は4 kg/10a推奨 密度を高め線虫が逃げ込むスキを与えない）
- ・ハウス内での利用：1 kg/100坪
（線虫対策の場合は1.2kg/100坪推奨 密度を高め線虫が逃げ込むスキを与えない）



拡大図 1mm網目状シートに「ネマレット」種子

☆「ネマレット」を播種する際の注意

- ・種子サイズが小さいため覆土目安は1 cm。播種後整地・鎮圧作業を行うことにより出芽が揃います。
- ・鎮圧ローラーをお持ちでない場合は、ロータリーを非常に浅くかける事で対応可能です。
- ・ブロードキャスター使用の場合の注意
種子と肥料を混和し播種する場合、種子の散布幅と肥料の散布幅は比重が違うため大きく異なります。開度を絞り多少オーバーラップして散布いただくようお願いします。
- ・10アール分の播種量を2回に分け、縦方向と横方向2回に分け播種することをお勧めします。
（1方向による1回の播種では播種ムラが発生する場合があります）

☆「ネマレット」を栽培する際の注意

- ・元々暖地型の草種であり、耐寒性が低く霜に弱い特徴があります。北海道内全域での播種時期は6月上旬～8月上旬を目安としておりますが、栽培する時期、地域、露地やハウスなどの栽培条件に合わせ、播種期を選定してください。

★スーダングラス「ねまへらそう 品種名スーパーダン2」について

「ねまへらそう」の種子については本年度完売に伴い供給が出来ません。ご愛用いただいている皆様にはご迷惑をお掛けしお詫び申し上げます。

☆「ネマレット」と「ねまへらそう」の違い

- ・初期生育：同等からネマレットの方がやや早い
- ・草丈：同等からネマレットの方がやや高い
- ・乾物収量：ネマレットの方が多収
- ・出穂期：ネマレットの方が早い
- ・耐倒伏性：ねまへらそうの方が強い

弊社緑肥作物は道内の様々なシーンでご利用いただけるようラインナップを揃えています。

詳しくは弊社ホームページ「<https://www.snowseed.co.jp/>」をご覧ください。



ねまへらそう